

先日は、クリニック内で体感したつづきを聴いていただき
ありがとうございます。

当初、福祉事務所の担当のケースワーカーさんからクリニックを
すすめられた時点では、まさか数年後に人前で話し伝える
ような事が起こるとは思いもありませんでしたが、通院を開始
してからは、看護師の人達に、たまたま家に来られて「明日も
来て下さいね」と言って帰って行ったり、効果のはっきりしない薬を飲み
続け足の関節の調子が悪くなったりもして、早朝から看護師2名
による連れ出しに、合鍵までも作らされ、11号部屋の中に入って
来られるかもしれない恐怖感に襲われ、毎日1,000円ずう
(1年以上過ぎてから、頼んであと1,500円にしてもらいました)のおおき
制度の生活は、3ヶ月～半年間ぐらいの予想(その後すぐにも
通院をやめる予定でした)でいたのが、結局はエントリで「続
いて行き、このクリニックの管理のもとから、進捗することも出来ないま
の状態に絶望的な気持ちにまで追い詰められてしまいましたが、
やっと「テーカ」という新たな場所を知り、そこで時間をかけて
それまでのクリニックから離れることが出来、また本来の診察を
してもらえる今度は信頼出来るクリニックも紹介していただき、
今の医院長からの適確な指導を受けてみると、それまでのクリニ
クの通院の月日が、いかにムダであつたかが思い知らされていま
す。往復で2時間かかるクリニックに週6回10:00~18:45を5年間以上
も続けて通つてゐることなど出来ませんでしたし、若い男性医師が「ここは
病院じゃないから...」と、ほかのメンバーさんに話してゐるのを聞いた
時には「一日も早く、ここを抜け出すければ」とあせってしまい、精神的
安堵を、求めるところの気分では、なくなっていました。現在は、
話を聞いて下さるクリニックに通院し、別の内科医の検査の結果に
よつての改善につとめ、「テーカ」にも参加させてもらい、それまでの
無意味な期間の日々を元々するようにしています。以前のクリニ
クでの昼と夜のこつりした2食のお弁当と、丸一日堅いイスに座つて
過ごすことのタライプログラム内容も健康には良くなかつたと思ひます。
これから、また何かの罫のような現象に引き付けられないよう気をつけたいと思ひます。